

遊休地を再生し、‘鳥取県で一番’の白ねぎ生産農家を目指します！

事業実施主体名	松本 朗治・松本 誠		住 所	境港市
プラン認定日	平成20年7月10日	プラン期間	平成20年～平成22年	

1 プラン内容

(1) 概要

■目的

- ・遊休農地を活用して面積を拡大し、鳥取県で一番の大規模白ねぎ生産農家になる
- ・反収の減少を防止するとともに、出荷時のロスが減らして高収益化を図る

■取り組み

- ①遊休農地を自力で開墾し、経営面積を拡大する。
- ②緑肥作物を栽培して連作障害を防止する
- ③圃場の排水不良を改善する
- ④高温、低温時における白ねぎ苗の生育不良を改善する
- ⑤夏季の高温を原因とする出荷調整時の腐れによるロス減らす

(2) 取り組みポイント

- 機械の導入と機械格納庫の新設及び雇用拡大により経営面積の拡大に対応する
- 開墾により確保した圃場を利用して緑肥輪作体系を導入する。
- バックホーを導入して遊休農地の開墾に活用するほか、地域の明渠・暗渠の清掃に活用する。
- 温度変化に対応しやすい天窓付の大型育苗ハウスを導入する。
- パッケージエアコンを導入し、出荷ケースを調整作業室内でそのまま冷蔵保管する。

(3) 事業の概要

年度	内 容	事業費 (千円)	補助金額(千円)	
			県	市町村
H20	育苗ハウス (6m×24m)	872	290	146
H21	パワーショベル 1台 格納庫 (6m×11mパイプハウス) パッケージエアコン	3,489	1,162	582
合 計		4,361	1,452	728

2 プラン実施状況

(1) 労働力、経営内容

	認 定 時 (20年)	現 状 (24年)
労働力 (雇用)	本人、妻、息子、娘 (パート1人)	本人、妻、息子、娘、雇用5人
経営内容・規模	白ネギ周年栽培、300a	白ネギ周年栽培、600a

(2) 成果

ア プラン目標に対する実績

- ・バックホーを駆使し、遊休農地の開墾を計画以上に行い、農地の集積が図れた。



表 1. 遊休農地開墾の目標と実績

図 1. 遊休農地開墾前、開墾後の比較

		H20	H21	H22	H23	H24	計
遊休農地開墾 (a)	目標	40	40	40	30	30	180
	実績	40	60	40	90	50	280

- ・近隣農地を借地し、白ネギ栽培面積を計画以上に拡大することができた。

表 2. 白ネギ栽培面積の目標と実績

		H20	H21	H22	H23	H24
白ネギ栽培面積 (a)	目標	320	340	360	380	400
	実績	340	480	650	600	600

- ・緑肥を導入することで、反収維持ができており、出荷量も順調に増加している。

表 3. 出荷量の目標と実績

		H20	H21	H22	H23	H24
出荷量 (ケース)	目標	28,267	33,033	31,800	33,554	35,333
	実績	28,000	36,000	48,000	51,000	54,000

- ・栽培面積及び出荷量が増えたことでさらに新たな雇用を創出することができた。

表 4. 雇用者数の目標と実績

		H20	H21	H22	H23	H24
雇用者数 (人)	目標	1	2	2	2	3
	実績	1	3	3	6	6

- ・育苗ハウスは周年利用しており、健苗育成が行えている。
- ・パッケージエアコンにより調整作業室内でそのまま冷蔵保管でき、夏場の品質保持に役立っている。

イ 更なる経営発展方向等

今回のプランを実施し、雇用を入れて大規模経営することで所得向上につながった。今後も前年より箱数を出し、売り上げを増やすことを目標に、面積拡大を継続するとともに、新たに開墾した農地をうまく利用し、連作障害等を避けながら白ネギ栽培を行っていく。

[西部総合事務所農林局]